

令和6年度 第1回中津川市子ども・子育て会議 会議録

日時	令和6年6月27日（木） 19:00 ～ 20:30
場所	ひと・まちテラス 活動室 101
出席	■子ども・子育て会議委員 18名 橋本委員、長谷川委員、近藤委員、前田委員、各務委員、安藤委員、田島委員、大橋委員、曾我委員、鎌田委員、丸山委員、神谷委員、小林委員、水野委員、堀尾委員、成瀬委員、志津委員、林委員 ■中津川市 小栗市長、早川市民福祉部長、花田教育次長、原市民福祉部次長、安江健康医療課長、安江幼児教育課長、伊藤教育企画課長、金澤政策推進課長、曾我子ども家庭課長、子ども家庭課（総務・上田）
内容	1 委嘱書交付 2 あいさつ 3 委員自己紹介 4 委員長、副委員長の選出 5 議事 （1）中津川市子ども・子育て会議の役割について【資料1】 （2）中津川市子ども・子育て支援事業計画と次期「こども計画」の策定について【資料2】 （3）中津川市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について【資料3】 （4）その他 6 閉会のことば

<会議録（要旨）>

1 委嘱書交付	・市長より改選された委員10名に委嘱書を交付。
2 あいさつ （市長）	・この子ども・子育て会議は、令和2年度から令和6年度までの中津市子ども・子育て支援事業計画について、進捗状況を皆様方にご確認をいただきながら、様々なご意見・評価をいただくという場でもあります。併せて、令和7年度から令和11年度までの次の計画につきまして、策定へのご意見をいただくという場になっております。ぜひ皆様方には、それぞれの立場で、忌憚のないご意見をいただきたい。 ・私の公約に掲げさせていただきました子どもの給食費の無償化につきましては、3歳以上児までの幼稚園、保育園、子ども園について、今回の中津川市6月議会で承認をさせていただきました。 ・子育て支援策が多々ある中で、予算に限りもありますが、どうしたら中津川市の皆様方が子育てしやすい街になるのか、生活しやすい街になるのか、皆様方から様々なご意見いただきながら、中津川市の政策に取り入れていきたい。また、様々な予算付けをして、子育てしやすい環境作りに取り組んでいきたい。

	・リニアの開業を見据え、中津川市をどんな街にしていけるのか、やはり子育てしやすい街に取り組んでいく必要がある。子どもたちがこれから未来、将来に向かっていく中で、我々大人が子どもたちのためにどんな街を作っていけるのか、そういう責任感を持ちながら、しっかりと街づくりをしていかなければいけない。そういう意味でも、令和7年度からの次の計画が非常に重要になってきますので、ぜひ皆様方にはしっかりと審議いただくとともに、皆様方それぞれの立場からご意見をいただきたい。 ・この会議が、何回か行われますが、ぜひ活発なご意見をいただいて、子どもたちのためにより良い計画、そしてより良い活発なご意見、意見交換ができますことを祈念申し上げまして、私からの冒頭の挨拶にかえさせていただきます。
3 委員自己紹介	～自己紹介中の主な意見～ ・スポーツで子どもたちと接する機会が多く、子どもたちとずっと関わってきている経験も活かしながら意見を述べたい。 ・これからは、子どもたちをいかに伸ばして、これからどう育てるか、そういったことがこの子ども・子育て会議で重要ではないかと思っている。 ・近年は、何もかもがハラスメントと言われたりしますが、支援側も、これからの一言一言に気を付けて行動し、そして子どもたちを大きく伸ばしていくことを願いながら子ども・子育て会議に臨みたい。 ・この会議では、保育園の運営、そして何よりも子どもたちと現場で接している側から見えるところで何か意見が言えたらいい。 ・適切に保護者や子どもたちに訴えかけると、隠れたニーズが出てくる。そんなところを、この会議で皆さんと議論しながら、隠れたニーズ、声のない声をいかに引き上げられるかというところをやっていききたい。 ・現場の子どもたちの様子等も踏まえながら、この会議に意見を反映し、会議でもらった意見で、現場で検討できるものは持ち帰りたい。 ・子どもたちと親さんの悩みや育ちなどをリアルに感じておりますので、そのような声を伝えたい。 ・子育てに関する保護者からの意見をいろいろ聞いてきたので、こういう場で、皆さんにも聞いてほしい。 ・自分の携わっている仕事の面から、あるいは、育児経験、保護者会活動などの面から意見が言えたらよい。
4 委員長、副委員長 の選出	・大滝委員長が退任されたことにより、委員長が空席となっていることによるものになります。中津川市子ども子育て会議条例の第6条の規定に基づき、委員長を委員の互選によって選出となっておりますが、いかがいたしましょうか。（委員より「事務局一任」の意見。） ・事務局一等の声をいただきましたので、事務局より提案させていただきましてよろしいでしょうか。（委員より「異議なし」の意見。） ・それでは、委員長は小中学校校長会選出の曾我様をお願いしたいと存じますが、いか

	がでしょうか。(委員より「異議なし」の意見。) ・委員長は、小中学校校長会選出の曽我様、副委員長は、引き続き田島様にお願いしたいと存じます。
5 議事	
(1) 中津川市子ども・子育て会議の役割について【資料1】	
委員長	・それでは、次第に沿って進行させていただきます。議題1「中津川市子ども・子育て会議の役割」について、事務局から説明をお願いいたします。
【資料1】中津川市子ども・子育て会議の役割について事務局が説明	
委員長	ご意見、質問はありますか。
委員	意見なし。
(2) 中津川市子ども・子育て支援事業計画と次期「こども計画」の策定について【資料2】	
委員長	議題2、「中津川市子ども子育て支援事業計画の次期子ども計画の策定について」に移ります。事務局から説明をお願いします。
【資料2】中津川市子ども・子育て支援事業計画と次期「こども計画」の策定について事務局から説明	
委員長	今説明のありました事業について、ご意見・ご質問はありませんでしょうか。
委員	子ども・若者育成支援推進法第9条第二項に規定する点の資料は？ これでは分からない。
事務局	資料はつけておりません。国の子ども・若者育成支援推進大綱という方針をこちらで示したかったのですが、一個一個の大綱が長く、今まで中津川市は大綱の計画を作っていないため、省かせていただいて、3ページ目の下段にこういったようなことを盛り込むという説明にさせていただいております。申し訳ありません。
委員	分かる資料を付けてほしい。これでは何も分からない。
委員長	事務局へ。第9条第二項について資料の提示を。
事務局	資料をお示ししたいと思います。
(3) 中津川市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について【資料3】	
委員長	それでは、続いて議題(3)中津川市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について。事務局の方から説明をお願いします。
【資料3】中津川市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について、それぞれ事務局から説明	
委員長	今説明がありました事業についてのご意見、ご質問を伺いたいと思います。いかがでしょうか。
委員	例えば数字で示したところで言うと、どういう分母がどういうことかということがわからない。物(実績値)が多いのか少ないのかよくわからない。パーセンテージにしても、70から100にしますと言っても、どれぐらいの数字が70パーセントなのか100パーセントかよく分からないところが多い。例えば、(なかつつこの)アクセス数でいくと5170が本当に多いのか少ないのか、これをやったことでどうなのかは、基礎となる数字がわ

	からないから、評価してくれと言ったってなかなか難しい。学校教育でもあったが、学力アップで指標が「朝ごはん食べましょう」という話は、僕はちょっと違うかなと思う。全国模試の中で、例えば県下において平均をこうしましょうとかというのが僕の目標で、これは1つの手段ではあるが、これを主要したという理由がまいちよく分からない。そういうことも含めて、主要がある中で、こんな数字ならデータ的には率が多いよということでない、なかなかこれだけ見ても僕らにこれを評価してくれと言っても分かりません。それから、1番最初のページの「待機児童が0、0、0」と言われても、これ目標なのか、年度末に何人の中で待機児童が1人もいませんよということはわかるが、こうやって示されても、良いのか悪いのか、どうやって評価したらいいかわかりませんけども、そういったそのパーセンテージっていうのはどういうものの、何パーセントか。例えば達成は、これぐらいの規模の中のこれぐらいですよということを示していただかないと、評価のしようがないと思うんですけども、どうでしょうか。
委員長	はい。事務局どうでしょうか。
事務局	今いただいたご意見につきましては、目標値に対しての実績、あと実績に対するパーセントにて数値化したものの評価ということになりますけれども、今分かりにくいというご意見をいただきましたので、次期計画につきましては皆さんにもっと分かりやすい指標を出させていただきたいと考えております。
委員	17-1 学力アッププログラムに関して。これも15年ぐらい前、南小学校の林先生が作ってくださったプログラム。今花田先生がPTAと連携してやっていきたいということを仰った事は、その通りだと思います。早寝早起き朝ごはんという家庭教育と、それに伴った学力アップのプログラムで、中津川市独自のもの。一家庭一実践という事でやっておりますので、大切にやってほしい事と、万人から見ると、中学校は要らないのではとか色々な話がありますので、そこをなんとか相談しながら、市P連と家庭教育委員会と連携して大切に運営していただきたいと思いますので、お願いします。
委員長	はい。事務局よろしいですか。
事務局	ありがとうございます。先ほどの学力アッププログラムのことについてはお話しいただきましたので少しお話をさせていただきますと、今の子どもたちは本当に家に帰って画面を見ることが多い。スマホだとかテレビだとかゲームですね。こういったことで生活習慣が乱れ、学校の生活にも影響が及んでくると。そういったところから、まずは家庭での生活習慣をしっかり整えることで学力も高めていこうと。間接的にはなりますが、どちらかといえば生活習慣をしっかり整えていくという部分が目標になっているので、このような指標になっていることを1つご理解いただきたいと思います。安藤さんに今指摘いただいた通り、活動がマンネリ化している、中学校では、必要ないのではないかとすることは、これまでの取り組みの中で言われております。やはり中学生であれば、自分で自分の生活を作り出す、しっかりと自立的な生活を送ることが大切になってくる時期だと思います。私どももそういうことを考えておりますので、毎年、学力アッププログラムの委員会を実施しておりまして、各校代表の職員が集まり、より良いも

	のにするために検討をしております。学力アップシートを変えたり、PTAとの連携をより密にするということを考えながら、改善しながらやっています。ぜひ中津川市独自の、子どもとしては誇れる取り組みだと思っておりますので、身のあるものにしていきたいと考えております。
委員長	はい、ありがとうございました。それ以外に意見ありませんでしょうか。
委員	先ほどからも意見が出ている、この評価について。主に数値的目標を設定して、それに対してどれくらいという、これは一番評価しやすいし分かりやすいところですが、私も何年かこの委員をやりながら、この重点事業だけでも26項目、かなり細かく色々あり、評価のところで、だんだん細かくなってきましたと、そこばかり細かく見て、何のためにこの細かいことをやっているのかという、大義というか大きなところがどうしても見失いがちになりつつあるのではと思ってまいいます。中津川市がどういう風にそこを考えるかですが、私はたまたまですが、今日国の、次期「こども計画」策定についての目指すところの「全てのこども、若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態（ウェルビーイング）な生活を送ることができる、この社会の実現を目指すという風に言っており、例えばその評価の中に、子どもたち、私はどちらかというと子育て世帯、家庭がと思っておりますが、そのウェルビーイングに繋がってるのか、達成にその効果があるのかという大きなところも少し考慮しながら評価をしていただけると、次の計画の時に、今度この事業をそのまま継続してやっていくべきなのか、もうちょっと修正すべきなのか、やっぱりもっと新しい姿勢を考えないといけないのかとか、そういったところに繋がってくるのではと。ウェルビーイングをして観点から評価してくださいという訳ではないが、何かそういった大きな市としての目標みたいなのところも考慮しながら評価、そして次の計画に繋がっていただければと思っております。
委員長	はい、ありがとうございます。事務局も何かありましたら。
事務局	評価につきましては、実は昨年度も評価に対してのご意見をいただきまして、今年度の評価については一部変更したところがございます。例えば昨年度までで言うと、4段階の評価を今年からは5段階、もう少し詳しく、あと（数値を）パーセントで分かりやすくという風にさせていただきました。ただ、この状態でもまだ分かりにくい部分がありますので、できる限り改善をしていきたいと思っております。あと今、委員から言われました、ウェルビーイング、国の考え方ですが、次期の子ども支援事業計画、「こども計画」も、国のこども大綱には指標が示されることになってきますので、その指標を監しながら計画の目標値も定めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
委員長	はい、ありがとうございました。その他、ご意見等はありませんでしょうか。
委員	少し重なる部分がありますが、私も総合計画の委員会でお話をしたことがあります、例えば、先ほどの委員さんも言われたような1番最初の部分ですね。目標の設定が、そもそもこの目標でいいのかどうかというところが、ちょっとどうなのかなと思う部分です。結局、コロナに入る前だったら、5000何某という数字で、コロナに入ったからそ

	の減少傾向にあった。コロナがあけたから、じゃあまた 5000 何某になるのは、どういうところで、目標に設定をされたのかというところが、ちょっと疑問かなという風に思います。 ・先ほどもありました、なぜ、早寝早起き・ご飯を食べるのが良いのかというところ。私たちも子どもが小さい頃、朝ごはんを食べさせて来てくださいという風に言われたました。ただ、なかなか食べさせることができない親さんってあるんです。だけど、例えば何時頃にご飯を食べたら子どもの脳はどの位で活性化をして、学習効果がどの位上がるというところは、当時その学校では示してもらえた。効果を示すことによって、やっぱり親として子どもがご飯を食べることによって学習効果が上がっていくのだと思えば、またちょっとは違うのかなと思いますし、せつかくこの位のパーセンテージいってるので、目標はあくまでも 100 パーセントでいいと思いますけど、その辺はどうか。
委員長	はい、ありがとうございました。事務局何かありましたら。
事務局	今評価について色々ご意見ありがとうございました。確かに評価自体の説明というところが、この資料には不足してると思いました。 この評価の標準値になるようなものを示されていないということもありますし、なぜこの指標にしたかということの説明が初めて見た方には分からないということで、事務局の思い込みというものがあるのかなと反省したところでございます。どうしてこの指標に表示したかということを含めて、また見直し・改善をしていきたいと思いますので、またお気づきの点がありましたらお持ちいただければと思います。今の指標自体の説明、そしてこの基準と言いますか、なぜこの数字にしたのかをまた分かるようにしていきたいと思います。
委員長	はい、ありがとうございました。その他ご意見の方。はい、お願いします
委員	皆さん仰っている、評価の仕方ですか、すごく大事だと思います。この5年間の子育て支援事業計画は相当、めちゃくちゃ大事だと思いますので、本気になって取り組まないともう色々取り返しがつかないことになってくると感じます。で、その上で、やはり先ほどもありましたが、重点項目で 26 というのは結構多いので、分科会にする。皆さん意見が消化不良だと思う。分科会にして、徹底的にそこの議論をしていく。基本目標とか具体項目を多分セグメントでうまく分けながら、委員が各所に本気が入って、きっちりどう評価をして、どう改善していくのかみたいなことができた方がより良いのかなというのが、今話を聞いていて思いました。
委員長	はい。皆さん、ありがとうございました。事務局何かありましたら。
事務局	ただ今ご意見のありました分科会につきましては、また委員長とも相談をさせていただいて検討していきたいと思います。
委員長	はい、ありがとうございます。その他ご意見の方がよろしいでしょうか。
委員	お願いします。評価という部分ですけど、これはどうしても評価という風になると、職員の方が頑張ったかどうか、その結果かみたいなのうに思われがちですが、それを評価

	しているのではなく、そのニーズに合っているか、結果が出ているか、届いているか、そういう評価だと思うんです。当然行政の計画なので、現場とか対応されているのは行政の方々に、何が今に合っていて、今後何をもっと力を入れていかないといけないか、そういうのって一番行政の方々、現場の方々がご存知だと思うので、そういうのも教えていただきたいですし、せっかく現場の方、保護者の方がいらっしゃる会議なので、具体的にこういう見直しをした方がいいと思います、こういうのどう思いますか、みたいなのを逆に教えていただければ、皆さん持ち帰ってそれぞれの会議で具体的に検討して、その受益者の意見を聞けるのではないかなと思いますので。せっかくの見直しなので、水野さんが仰った通り、今とこれからにあった計画になればいいのかなと思います。
委員長	はい、ありがとうございます。事務局よろしいですか。
事務局	評価につきまして様々なご意見をいただきまして、ありがとうございます。今いただいたご意見につきましては、次期の計画にしっかりと反映させていただきたいと思っております。
委員	資料2の支援事業計画策定スケジュールですが、令和6年8月に計画案の骨格への意見と、ここら辺まで、今日から8月まで、大体これは子ども家庭課でまとめられるわけですか。外注業者だとかそういう事では無く。
事務局	計画につきましては、事業所の方に委託している部分はありますが、計画の骨格部分につきましては、当然子ども家庭課で検討しながら進めていくことになります。
委員	今日の意見も非常に参考にしてやっていただければ。すぐ皆さん、テレビじゃないけど外注になっちゃうから、それが心配で。
委員長	はい、ありがとうございます。その他、ご意見…保護者の皆さん、どうでしょうか。初めての参加だと思いますが、よろしいですか。 →意見なし。
(4) その他	
委員長	それでは、続けます。その他について、ご意見、ご質問はありませんでしょうか。
事務局	・はい。お時間いただきありがとうございます。それでは政策推進課より、中津川市総合計画審議会の議員の推薦について、説明と依頼をさせていただきたいと思います。よろしく願います。 ・「次期中津川市総合計画策定について」という資料をご覧ください。まず中津川市総合計画、こちらは中津川市の最上位計画、市全体の計画になりまして、現在、平成27年度から令和8年度までの12か年の計画が動いております。そして令和8年度をもって一旦区切りになりますので、今度は令和9年度から、10年間のまちづくりの計画、指針の策定を進めていきたいと考えております。「次期中津市総合計画策定の流れ」という形で今年度、令和6年度から基本構想・基本計画の検討をスタートいたしまして、市民の皆様からの意見、アンケート調査、インタビュー等をいただきまして、計画の素案を作成した上で、中津川市総合計画審議会、審議会に諮問、答申をいただいて、パブリックコメントを経まして新改革での議決を経て、基本構想・基本計画の総計画を策定していくという流れになっております。

	・その後、令和8年度に実施計画を策定しまして、令和9年度から実際に運用していくという形になりますが、この策定の中で中津川市総合計画審議会という審議会、こちら市の付属機関という形で意見を諮問して答申をいただくという機関になりますが、この総合計画は市の全体の計画になりますので、委員の方を推薦いただいて、幅広い各分野の方々に意見をいただくという形になります。 ・委員名案をご覧くださいと、各分野学識経験者から始まりまして、各商工・農業・林業・子育て等、様々な分野から選出いただく形になりますが、中津川市子ども・子育て会議様からも1名の委員の選出をお願いしたいと考えております。 ・消防団体、民生児童委員さん、PTAさんは別に、また別途先日の依頼の方をさせていただいておりますので、特にこちらの子ども・子育て会議様からはですね、例えば未就園児の子どもさんや子育て現場に関わる事業所の方などから選出していただけると大変ありがたいと思っておりますので、委員のご選出、よろしくお願いいたします。
委員長	ありがとうございました。今の議題について、特に未就園児の子どもに関わる委員の選出をという事ですけども、いかがでしょうか。
委員	未就園児保育を特にやっておられる、くっくの水野さんを推薦したらどうかと提案させていただきたいと思います。
委員長	はい、ありがとうございます。くっくの水野さん、いかがでしょうか。
委員	ぜひ、皆さんの代表として責任を持ってこの意見も含めて、きちっとこの総合計画で策定に起用できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	・それでは、くっくの水野さんを中津川市総合計画の審議会議員に推薦するということによろしいでしょうか。→拍手にて承認。 それでは水野さん、よろしくお願いいたします。 ・では今一度、本日の議事全体についていかがでしょうか。→意見なし。 ・それでは以上で本日の議題の方は全て終了いたしました。委員の皆様には、活発なご意見・ご議論をいただき、どうもありがとうございました。それでは事務局にお返しします。
事務局	長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。最後に田島副委員長様に、ご挨拶をお願いします。
6 閉会のことば	
副委員長	長時間にわたり貴重な意見がたくさん出ましたので、また今年度から子ども・子育て会議で、また皆さんでいろんな知恵を出し合いながら、いいものができるように頑張りたいと思います。今日は遅くまでありがとうございました。お気をつけてお帰りください。
委員長	それではこれもちまして、第1回「子ども・子育て会議」を閉会とします。お忘れ物の無きよう、お気をつけてお帰り下さい。本日は誠にありがとうございました。